事務事業評価票

81	指令管制システムの更新 （東京消防庁企画調整部）	事業開始	平成 21 年度
		事業終了予定	平成 27 年度

【局評価】

1 どのような経緯で事業を始めたか、何を目指すのか

○　年間100万件を超える都民からの１１９番通報等を迅速・的確に処理するため、平成14年度末から現行の指令管制システムを運用している。

根拠法令等	

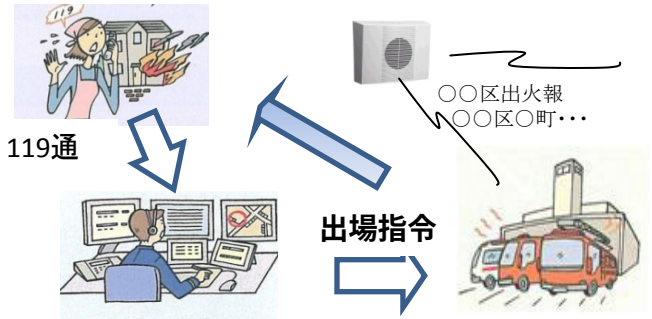
2 どのように取り組み、どのような成果があったか

○　本システムの更新には７～８年程度の準備を要し、今から開始しても現行のシステムを12年以上使用することになることから、平成21年度より更新の検討に着手している。

3 どのような課題や問題点があったか

○　１１９番通報等をより迅速かつ適切に処理し、確実に消防部隊を出場させる必要がある。

○　更新が予定される時期には、現行システムの老朽化が著しいと予測される。



4 局として、事業をどうしていきたいか

拡大･充実	見直し･再構築	移管･終了	その他

○　コスト面も重視してシステム構成を見直し、効率的な新指令管制システムを構築していく。

年度	計画概要
21	基本構想策定
22	基本設計
23	実施設計
24	製造･開発
25	製造･開発
26	設置･運用試験
27	設置･運用試験

事業費		
	20年度決算額	－ 千円
	21年度予算額	15,224 千円
	22年度見積額	33,579 千円

【財務局評価】

5 財務局として、成果や課題などについて、どう考えたか

○　指令業務の迅速・確実な処理などを図りつつ更新を進めることは妥当と考えられる。

○　一方で、開発に当たっては、システムの簡素化やネットワーク回線の見直しなどコスト縮減の観点からの検討が必要である。

6 22年度予算で、どのように対応したか

拡大･充実	見直し･再構築	移管･終了	その他

○　要求どおり予算を措置する。

○　今後の設計作業等に当たっては、コスト面に配慮したシステム構成となるよう十分な検討と調整を行うこととする。

事業費	22年度予算額	33,579 千円